

## 令和3年度会報電子版アンケートのまとめ

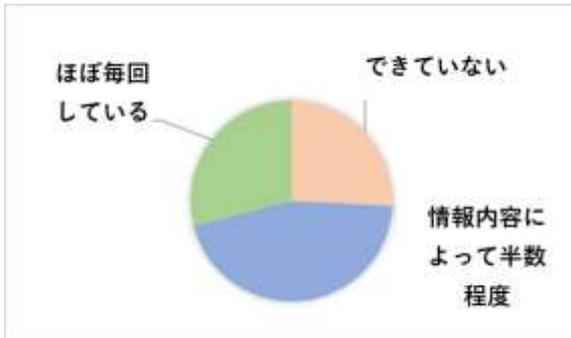
### 1 回答数について

回答数 会員 37 教育委員会 16

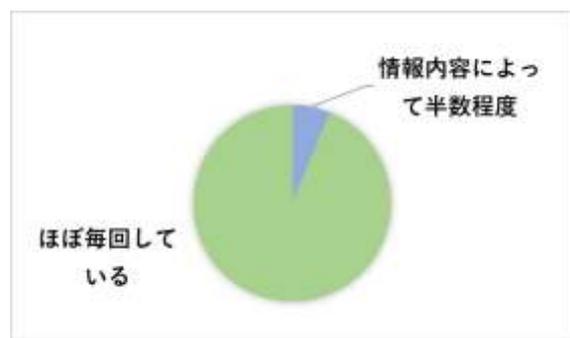
会員は16%、教育委員会は50%の回答率でした。年度末に唐突なアンケートを依頼したにもかかわらず御回答いただき、ありがとうございました。

### 2 会報電子版を情報共有について

#### (1) 会員



#### (2) 教育委員会

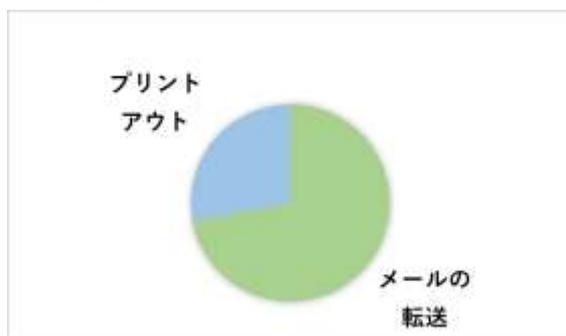


4分の3程度の会員では情報共有がなされています。教育委員会から所管する中学校等へは、ほぼ毎回情報共有がなされています。メールを受信し共有するため、転送等していただいた担当者の方々、ありがとうございました。

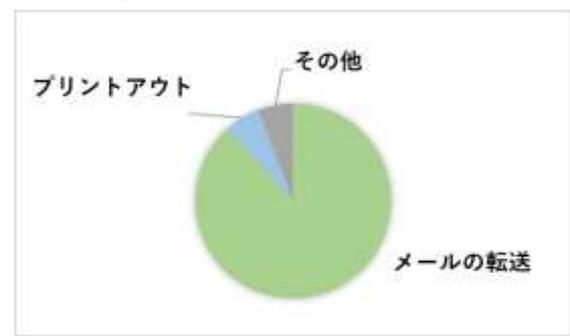
会員等への電子版送付数はおよそ260件ですが、教育委員会の御協力を得て423校の公立中学校会員へも情報が届けられていたことがわかりました。

### 3 情報共有の方法について

#### (1) 会員



#### (2) 教育委員会



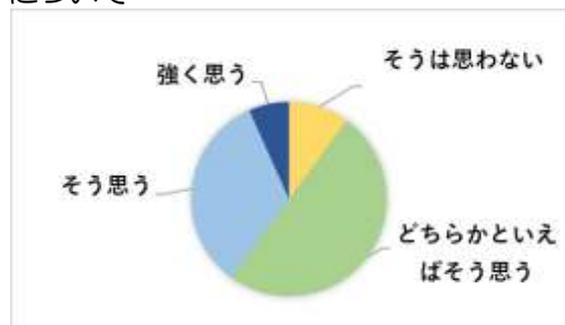
会員内部ではプリントアウトも情報共有の有効な手段のようです。教育委員会から中学校へは、メールによる転送がほとんどでした。

### 4 会報電子版の情報は、会員の交流になったのかについて

「どちらかといえばそう思う」が半数を占め、「そうは思わない」の回答を加えると、3分の2程度になります。

会報電子版は会員に向けての一方通行の情報なので、会員の交流という視点では、電子版の強みを生かして改善する必要があると考えています。その際には、御協力をお願いいたします。

なお、この質問は会員のみに向けたもので、教育委員会担当者には質問していません。



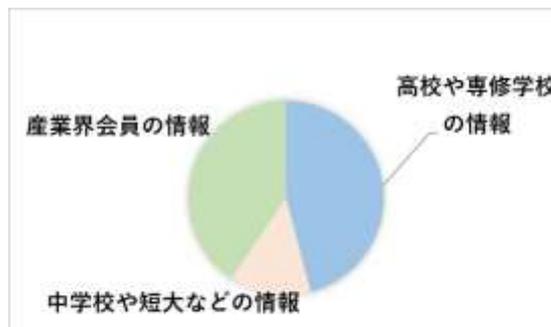
## 5 どのような情報を期待しているかについて

昨年度は専門高校や専修学校の情報を発信してきましたが、産業界会員の情報を期待していることが分かります。

会員校、あるいはそこで学ぶ学生や生徒にとって卒業後の進路を考えると、上級学校や産業界の情報の発信源の一つ、特に産業界と学校、双方が会員となっている都産振の強みを生かさねばと考えます。

ある教育委員会からは、

「工業科や総合学科などの紹介は中学校にとって貴重な情報である。多様な進路選択に向け生徒や保護者に情報提供を行う上でも、今後も各中学校に会報電子版の転送を継続していく」などとコメントもいただいています。

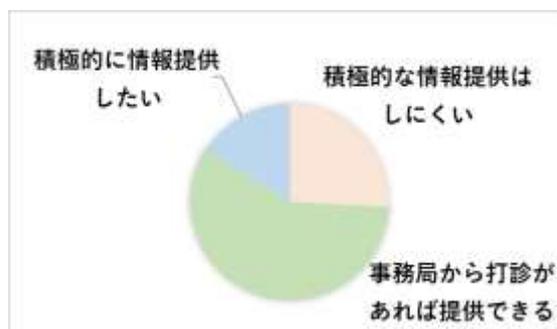


## 6 会報電子版に情報提供することについて

電子版を発信するたびに情報提供を呼びかけてきましたが、昨年度の反応が今一つでした。その原因がわかるような結果となっています。

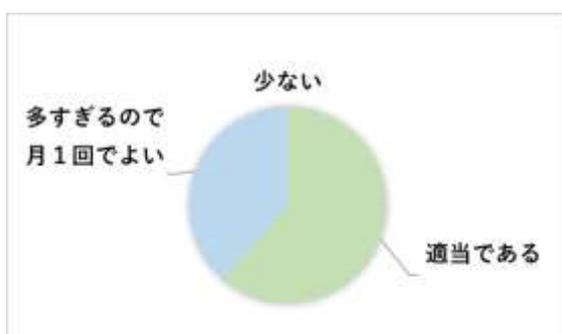
昨年度は、事務局が会員校ホームページから情報を選び会員校の了解を得て発信してきました。

また、発信する会員校の情報はそれぞれが独立した情報で前後の会報電子版情報とは特に関連性もなく、このような状況では会員からの積極的な情報提供もしにくかったことが推測されます。

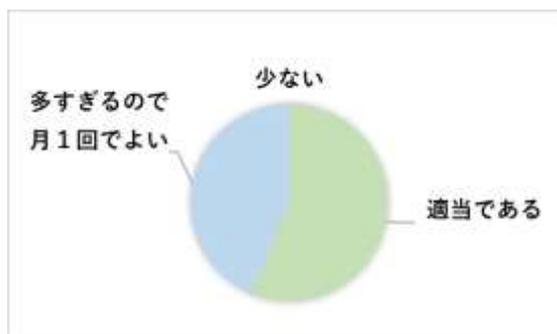


## 7 会報電子版の月2回発行について

### (1) 会員



### (2) 教育委員会



「適当である」という回答が少し多い傾向は会員も教育委員会も同じようです。

2年目となる今年度は、「月2回発行」にこだわらずに「月1回発行」を原則として、交流を意識した情報発信や何らかの企画に基づいた情報発信など、ただ情報を流すばかりではない、事務局で工夫を加えた情報発信になるようにしなければと考えています。

## 8 アンケートに寄せられたコメントから抜粋

- 会報だけでなく、現在の紙ベースのものすべてデジタル化してもよい。(会員)
- 管理職として専門学科の学校は初めてで勉強になっている。(会員)
- 区のセキュリティ上、リンクへの直接アクセスができない仕組みのため、メール添付が読みやすい。(教育委員会)
- HPリンクは取組みの詳細を直ぐに参照できるので便利。(教育委員会)